



2019年10月9日

各 位

会 社 名 株式会社帝国ホテル
代表者名 代表取締役社長 定保 英弥
(コード：9708 東証第2部)
問合せ先 取締役総務部長 徳丸 淳
(TEL. 03-3504-1111)

新規ホテル計画に関する検討および協議開始 に関わる基本合意書締結のお知らせ

当社は、本日（10月9日）、^{ぎおんこうぶかぶれんじょう}祇園甲部歌舞練場（京都市東山区）敷地内の^{やさかいかん}「弥栄会館」を活用した新規ホテル計画について、検討および協議を開始することに関する基本合意書を、^{やさか}学校法人八坂^{によこうばがくえん}女紅場学園（所在地：京都市東山区、理事長：太田紀美）との間で締結しましたので、お知らせいたします。

記

1. 経緯及び趣旨

計画地は、京都市東山区祇園町南側の、現在、学校法人八坂女紅場学園が所有する祇園甲部歌舞練場敷地内「弥栄会館」です。

祇園は、京都を象徴する場所のひとつであり、伝統とおもてなし文化が凝縮された特別な場所です。八坂女紅場学園が歌舞練場の耐震改修計画を進めるにあたり、弥栄会館のホテルとしての活用について、候補の一つとして当社にもご相談をいただきました。日本を代表する都市である京都は、当社としても、かねてから新規事業の有力な候補地と考えており、その中でもさらに象徴的な場所である祇園でのホテル計画は、明治23年（1890年）に迎賓館として開業して以来、世界各国からお客様を迎えてきた当社の歴史や企業理念との親和性が高いと判断しております。

「弥栄会館」は、1936年に竣工した和風意匠の伝統を巧みに織り込んだ名建築で、歴史と伝統あるお茶屋の家並みと共に一帯の景観を形成し、京都市の歴史的風致形成建造物に指定されています。近年は建物の老朽化や耐震性の問題により、本来の用途である劇場を含む大部分が使用されなくなっております。当社としても、貴重なレガシーを継承しつつ、新たな息吹をもたらす未来に貢献する事業は、社会的にも意義があると考えております。

今後、弥栄会館を活用し、祇園町南側地区の優れたまちなみにふさわしいホテル計画を実現できるよう、八坂女紅場学園をはじめとした関係者の皆様、および関係各機関の皆様との検討・協議を進めてまいります。

2. 弥栄会館について

1936年（昭和11年）竣工

2001年（平成13年）より国登録有形文化財

2011年（平成23年）より歴史的風致形成建造物（京都市指定）

歌舞練場を補完する目的と「社会の進展に適應する會館の必要を感じ」（『弥栄會館建築趣旨草稿』）建設されました。

鉄骨鉄筋コンクリート造、地上5階地下1階建の劇場建築で設計は大林組の木村得三郎によります。

各階に銅板瓦葺き屋根をかけ、塔屋状の正面中央部は付庇や宝形造屋根が城郭の天守を思わせる造形で、和風意匠の伝統を巧みに織り込んでいます。

当初、演劇や人形浄瑠璃などに用いられましたが、その後、映画館やダンスホール、コンサートなど各種興業にも利用され、地域の人達から親しまれてきました。近年、次第に活用の機会が減り、耐震性の問題から劇場部は使用されていません。現在は、日本の伝統文化を紹介する「ギオンコーナー」が開催されているほか、「祇園甲部」の事務所として利用されています。

3. 学校法人八坂女紅場学園について

1873年（明治6年）母体となる教育機関 創設

1902年（明治35年）財団法人となる

1951年（昭和26年）学校法人設立

京都五花街の一つ「祇園甲部」は、京都市東山区に位置し、東は東大路通、西が鴨川、南北は建仁寺から新橋通に囲まれています。重要伝統的建造物群保存地区の祇園白川地区を含む京都で最も大きな花街で、お茶屋、料亭などの伝統建築と石畳みの格調高いたたずまいが特徴です。

学校法人八坂女紅場学園は、「祇園甲部」の芸舞妓学校「祇園女子技芸学校」を運営するとともに、祇園町南側の土地や歌舞練場などの不動産を所有しています。

4. 今後の見通し

基本合意書に基づき、本計画の検討、協議を鋭意進めてまいる予定であり、見通しが明らかになり次第、適宜お知らせいたします。

以上